

「中野」 女園からリビング、居間を行く。単なる圧室に入るドアをすべて閉鎖ではないけれど、めると、趣味スペースは このような発想は中野玄関と玄関ホールを巻き込んで一つの部屋にのものはない。この冬、このマンションは内都心マンションの多くが廊下方式を採用し、内廊一斉に新発想のダウンサ下にも空調が効いてい イッキング間取りを展開し

制へ仕入れ拡大

販売好調で攻勢へ

で安定的に戸超の供給体制を軌道に乗せる。仕入れは1プロジェクト当たり20戸程度の小型ワンルームから、同業他社があまり手を出さない100戸前後の大型ワンルームまで対象とする。商品ラインアップの拡充にもつなげる。不動産市場ではワンルーム業者に限らず仕入れ競争が激しくなっているものの、自社開発用の土地のほか、専有卸しや竣

ならぬように、ディスプレイと食器洗浄機をそのようなダウンサイジング設置する。美しいコング間取り全般に「エコプラン」という名前を付した。中野ツインマークタワーは新世代「エコプラン」の成功例でもある。



中野ツインマークタワーの完成予想図

「1つのプロジェクトを2カ月前後で完了できるため（物件を抱える）専有卸し業者にもメリットがある」（三浦社長）と弾みをつける。足元の販売は好調。前年末に東京都江東区で発売した「ハーモニーレジデンス木場ステーションフロント」完成予想31戸は実質1カ月で完売。墨田区・曳舟で発売したばかりの「東京イースト

を再開した。昨年11月に事業再生Aも図る。人員を増強するのは、インカムゲイン目的の学生マンションや高齢者施設をサブリースする日商ハーマニーは、空室リスクを徹底的に安定志向の顧客を取り込んでいます。電話営業の依存度が低いのも特徴で、「販売戸数の5・6割は既存顧客の追加取得や紹介客が占める」（同）。既存顧客とのパイプを保つため、販売強化策も好調な販売の要因」（同）だ。

野中氏は講演で、自立心を開いた写真。50人の定員を大きく上回る100人超の参加申し込みがあり、セミナー後の個別相談会にも多くが参加。終了後には両社が会場近くで販売するマンションを見学する参加者も出るなど、女性のマンション購入ニーズの高さがわかった。キャンセル待ちが出るほどの高い反響を受け、両社では11日にも追加セミナーを緊急開催した。

野中氏は講演で、自立心を開いた写真。50人の定員を大きく上回る100人超の参加申し込みがあり、セミナー後の個別相談会にも多くが参加。終了後には両社が会場近くで販売するマンションを見学する参加者も出るなど、女性のマンション購入ニーズの高さがわかった。キャンセル待ちが出るほどの高い反響を受け、両社では11日にも追加セミナーを緊急開催した。



野中清志氏がセミナーで講演する様子

女性限定セミナーに100人超

定員超えで追加開催も

野中清志氏がマンション購入指南を講演後に質問攻めにあった野中氏は女性のマンション購入について「貯蓄率が高いシングル女性の住宅取得意欲はとくに強いことがあらためて分かった」と指摘。デベロッパーは「女性イコール主婦といった視点にとらわれず、シングルという生き方を選択した女性にもっとアプローチすべき」と述べるとともに、資金や購入後までを現実的に考える女性に対して、購入リスクを含めた幅広い情報を客観的に伝えることが重要だと指摘した。

京橋再開発 延が業務代行

の施工や 中央区の有形文化財に 再開発するの京橋2

のビルを建設して、東京駅前エリアの再生とともに歴史的街並みの景観形成も担う。来年度に予定する本組合の設立を経て着工する。京橋エリアでは複数の再開発事業が進行中。今回プロジェクトの隣接地では、森トラストが京橋M Tビルを22階建て延べ5・2万平方メートルに建て替える「京橋2丁目プロジェクト」に着手済み。京橋3丁目では、東京建物などが出資する特定目的会社で24階建て延べ11・7万平方メートルの複合ビル開発を昨年10月に着工して